

練習に書いた日記

2017.09.07

今日はみんなが会議室に揃ってスマートフォンで日記を書く方法を勉強しています。練習のためにこの日記を書くのです。



把日文投稿翻译中文的文章

ホームステイの生活初印象

2017.09.18

一週間前、新幹線のチケットが手に渡された時から、私のホームステイ生活が始まりました。

東京に迎えくれたの私ホストファミリーのお母さん、私の新しい学校の先生でした。お母さんはとても優しい人で、中国語も英語もできます。私たちが大阪で電車に乗り換えて、ほぼ40分で家に着きました。

家は大阪府と和歌山県橋本市の間の田舎に位置します。各戸の家は山の下に集まって、狭い道の両側に並んでいます。一戸建ての家は庭に囲まれて、庭にたくさんの植物が植えてあって、どこでも緑でいっぱいです。田舎と言っても、全然貧しくないです。各戸のかレンジに色々な車が何台も止まっていて、家にはさまざまな調度や電器も揃っていて、まるで現代化の田園生活です。

私の部屋は2階にあります。家族は普段それぞれの部屋にいて、食事の時はみんなリビングルームに揃って、食事しながら、喋ります。三人がよく料理をコメントしたり、学校のことを話したりします。時々ニュースやドラマなどもみます。自分の日本語のレベルは低いし、日本の生活にまだ慣れていないし、よくお母さんかお父さんに分からないものを教えてもらいます。みんなは真正な家族のように楽しく日々を過ごしています。異郷にも温かい家庭があって、自分が本当に幸いだと思っています。

もうすぐ強い台風がきますが、こんな温かい家にいて、護られている感じがします。この家で、後の10か月を充実に過ごすと期待します。





把日文投稿翻译中文的文章

みんなの体育祭

2017.09.27

この学校に来た後もう二週間過ごしました。あっという間に学校の体育祭がやってきました。

中国の学校でも運動会がありますが、ここの体育祭と全然違います。中国の運動会に個人的な競技が多いです。しかし、日本の体育祭の競技は全部団体の協力が要って、どの選手の体育祭ではなくて、みんなの体育祭です。

朝九時ごろ、学校の全員が運動場に集まって、校長先生が体育祭を始めました。最初は私たちの学年のフォークダンスで、みんなが輪になって、お互いに拍手しながら踊りました。そのつぎは「40人39足」の試合でした。クラス全員が横に並んで、それぞれの足を左右のクラスメートの足と結んだあと、いっしょに終点に向かって走りました。何度も練習したことがあるが、真正な試合の時は逆に失敗しました。男子たちが速すぎなので、女子が間に合わなくて転んでしまいました。みんなゆっくり終点まで移動したが、びりに違ひなかったです。私が障害物リレーにも参加しました。ハードルを越すのが苦手だから、たくさんの時間を失いました。クラスメートの努力のおかげで、二位を取りました。

午後は縄跳びと綱引くの試合でした。みんなが緊張したからかもしれないが、いい成績を取りませんでした。縄跳びの時に、綱がよく誰かに引っかかられました。綱引くも強い相手に負けました。クラスの試合が終わった後、クラブ対抗時間でした。対抗というより、ショーといったほうがもっとふさわしいと思います。リレーをする時文化部のメンバーが着物などのような服を着ていて、情報技術部のメンバーがキーボードを持って走りました。

夕べ、体育祭が高校三年生たちのフォークダンスの音楽に伴って終わりました。クラスメートたちが努力に協力していて、ようやく二位の総成績を取りました。



家庭授業の「実験」 -ピザ作り

2017.10.04

いつの間にかもう10月になりました。国内の8日間休みをうらやむが、今週は中間テストをちゃんと受けなければなりませんね。

しかし、時々休みより授業のほうがもっとおもしろいです。中国では化学や物理の実験をしたことがあるが、先週は初めて家庭の授業の実験をしました。

実験の内容はピザを作ることでした。みんながエプロンを着て、三角巾をかぶって、調理教室で授業を集まりました。机の上にもうハムやピーマンなどのような材料が置いてあります。一人がまずは先生の指導どうり小麦粉をこねて、麺棒で餅のかたちにしました。その同時、私たちが食材を薄く切りました。餅ができるて油を塗って後、オーブンで30秒ぐらい温めました。それから、みんなが思い切り食材を餅に散らして、配ったチーズを小さくして置きました。これまで大抵のステップが完成しました。先生が何かを散らすと、もちの上は本当にばらばらとしました。

この全然ピザに見えないもちをオーブンを入れて、10分ぐらい焼きました。それを出すと、白いもちがもう金色のピザになって、ばらばらとした食材もチーズに覆われました。ただ見て食欲を催しました。食欲があったら、次のステップがもちろん味わうことでしょう。ピザを四つに分けて、みんな一緒に食べました。外見が他のグループのほどきれいではないが、味はずいぶんおいしくて、レストランのレベルにも至る感じがしました。

今回の授業で習ったものは、ピザの作り方の以外、労働の楽しみや料理を作る人の苦労もよくわかりました。





京都遠足

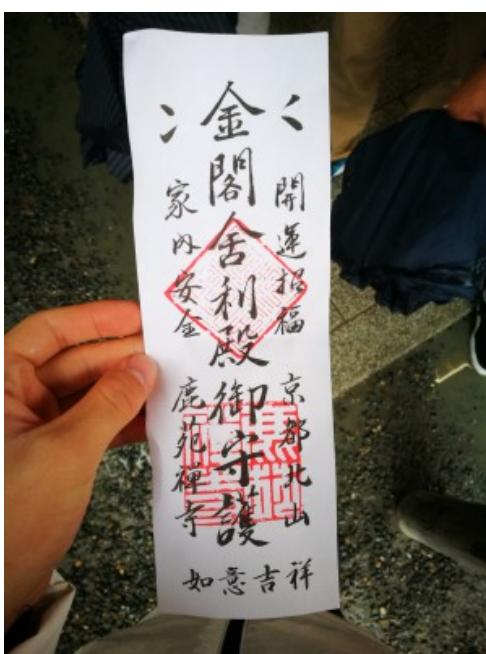
2017.10.13

先週が中間テスト期間で、月曜日から4日間テストを受けました。一週間過ごして、成績もだいたい出たから、そろそろ一週間前の金曜日の京都遠足について喋るべきだと思います。

遠足は学校が組織したのです。学年全員がバスで京都に行ってから、グループに分けて4時間京都市内で自由活動の予定でした。私がずっと金閣寺に行きたかったから、友達と一緒に金閣寺に行くのを決めました。当日、バスで京都に着くと、雨が降っていました。清水寺にバスを降りて、また市バスで京都駅に行きました。駅でラーメンと餃子を食べました。それから地下鉄とバスで金閣寺に着きました。

友達が私に地面を見させて、わたしを金閣寺の前に連れて行きました。頭をあげると、目に映った景色に驚きました。池の岸に、金箔に囲まれた寺がキラキラしました。雨でまわりの緑が暗くなって、金色がもっと目立ちました。日差しが弱くて、金色がそんなに眩しくなくて、逆に典雅な感じがしました。小さい波がある池が金色を映して、金は波に伴って流れるように見えました。

金閣寺を拝見てきて、私がもう満足しました。スケジュールがハードなので、お土産を買った後、急いで集合に行きました。





把日文投稿翻译中文的文章

留学中の目標

2017.10.21

留学の日々がますます充実になって着るとともに、もうすぐ2ヶ月も経ちました。最初の好奇心も安定に続いている生活のように、弱くなってきて、色々な異文化に慣れました。そろそろこの一年間の目標のために、努力し始めるべきです。

一つ目の目標はもちろん日本語の能力です。日本語を勉強するのは、もともと私の留学の目的です。それに、留学期間に日本語能力試験のN1に合格するのは日中交流センターの要望です。以前は日本人とよく喋ったら日本語が自然に上手だと思っていたが、実はそうではありません。たくさんの語彙と文法が普通の対話ではあまり使われません。それらの知識を勉強するのにやはり教科書を読まなければなりません。それから、いつでも辞書を身につくのも大切です。もし分からぬ言葉があったら、すぐ調べられます。日本語において、学校全員が私の先生なので、こんなありがたい環境を絶対無駄にしません。

もう一つの目標は成績についてのです。中間テストの成績が出たら、自分が思ったとおり、びりでした。数学のような理系は勉強したことがあるけれど、古典を始めの文系が記録的な低い成績を取りました。誰でも私の成績に要求がなくとも、こんな点数がよく一位を取る私をショックさせました。理系はもちろん、私がここを出る前、国語に合格しようと思います。日本語の能力が上がるのに従って、文系の勉強もだんだん易しくなっていくと信じます。

毎日勉強の他に、何時間も部活に参加しているて、いそがしいから、目標は以上だけです。今から頑張って、それらの目標を現実にしよう。

把日文投稿翻译中文的文章

中国交流団の訪問一一準備

2017.11.03

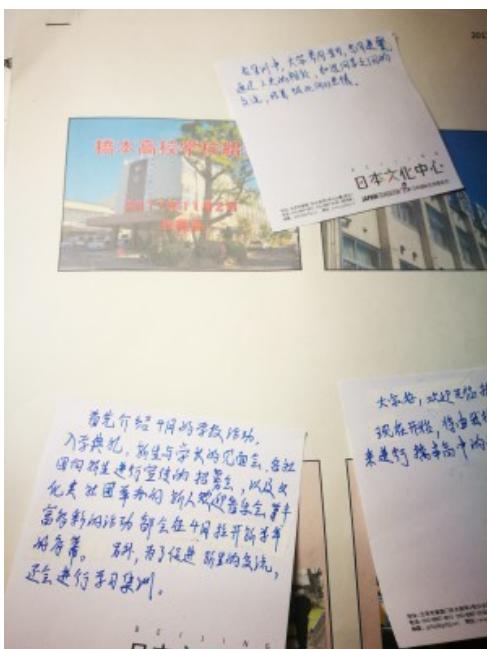
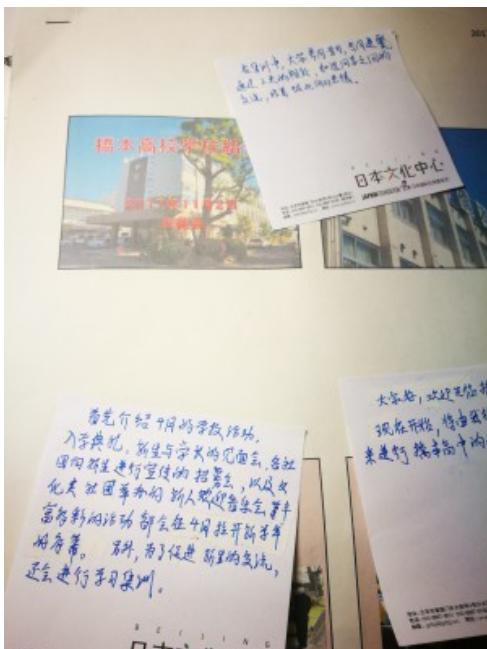
私の留学の橋本高校は中国の济南第七中校と友好学校を結んでいます。両校はもう何年間もお互いに交流してきました。今年の十一月の1日からの4日間、济南第七中学の8人の生徒と二人の先生からなっている交流団が我が校に訪れる予定しました。

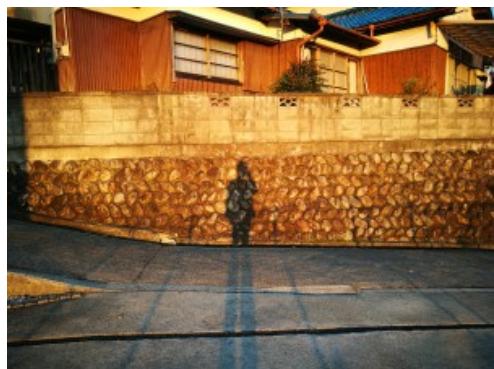
そのため、学校が二週前から色々準備し始めました。交流団全員は日本語ができないので、全ての発表は中国語に訳しなくてはいけません。しかし、全校では、この仕事ができる人が私とホストファミリーのお母さんのさいき先生しかなくて、これらの仕事は自然に私たちがすることになりました。中国人として、私は日本語の原稿を中国語に翻訳することを担当しました。最初は易しくできると思ったが、意外にも日本語の単語に負けました。騎馬戦や壮行会などのような中国にはいないものが翻訳しにくかった。それに、たくさんの文が日本語では通じるけれど、直訳すると変な感じがしました。だが、意訳すれば、よくもとの意味と微妙な違いがあります。ほんとに困ったが、色々勉強になりました。

難しい翻訳任務がほとんど毎日でもあって、よく夜更けまで翻訳します。学校が代表できる発表を訳させて、幸運か不運かわかりませんね。翻訳の他、中国語授業を選択した生徒の発表も指導しました。みんな中国に興味深い人でした。中国語の進歩も思わないほど早かったです。

全部用意して、その日がやってくるのを期待していました。

(今日、通訳者として交流団と一日中学校のさまざまな活動を体験しました。とっても素晴らしい一日でした。学校では自分の携帯の使用は禁止されているから、今日の写真はまだもらっていないくて、今日の体験は後に日記で話せていただきます。^_^)





把日文投稿翻译中文的文章

中国交流団の訪問——高野山の寺

2017.11.06

私が住んでいる橋本市の南に世界遺産の高野山があります。高野山が日本の仏教の聖地の一つとして知られています。私が学校の世界遺産に関する講座で高野山をわかりません。この前はずっと行きたいでしたが、毎日高野山行きの電車で通学しているのに、一度もいったことがありません。

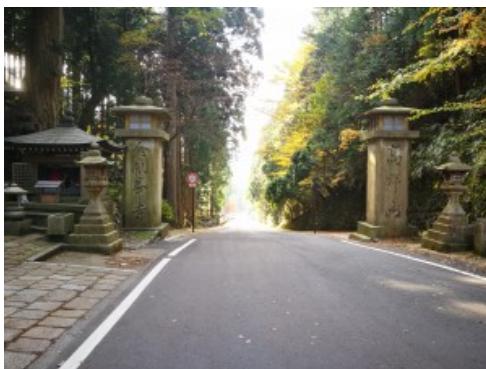
この度、中国交流団のおかげで、この願いがとうとう実現しました。文化の日、中国交流団の二人の先生や学校の先生たちと高野山へ観光に行きました。同行した人は何人もいました。ホストファミリーのお父さんと台湾から修行に来たお父さんの友達のきょさん。学校の先生のお母さんと私たちの現社の先生も来ました。

高野山は仏教の分派の密教の聖地であり、空海が弘仁7年に創建した金剛峯寺を始めの寺の群れです。117の寺が頂上の盆地に集まって、森の中に分布しています。入り口に女人堂という建物があります。1000年ほど前、女がここまでしか至らなかったそうです。奥に入って、徳川家靈台を見学しました。徳川家康とその息子の祠堂が杉林の前に並んで、正面から見ると、山に守られている感じがしました。そこを出て、私たちが報恩院に行って、みんなと待ち合わせました。今度のガイド、ここの博物館の館長さんが報恩院で招いてくれました。

報恩院を出て、壇上伽藍へ行きました。中門から入ると、目の前は金堂でした。ここは高野山の総本堂で、薬師如来を祭っています。その左は経書が置いてある荒川経蔵です。金堂の後ろは大塔です。この建築の色も他の寺より鮮やかだし、高さもずいぶん高いから、とても目立ちました。中に祭っている大日如来の他、壁に菩薩や阿羅漢の絵も描いてあります。その後、私たちは金剛峯寺を観光しました。ここは高野山の中心で、面積がとても広いです。観光客は主殿から寺に入って、その中を回って観光できます。中の部屋の押し入れにはいろいろな美しい絵が描いてあって、金箔で飾っています。庭の地面が砂が敷いてあって、波のかたちをされて、大きい石を囲んで、島を囲む広い海のようでした。主殿

に直径が1メートルの鍋が置いて、昔の僧侶たちの食事に使っていたそうです。そこから出て、つぎは靈宝館でした。靈宝館はたくさんの国宝が入っている博物館です。快慶や運慶などの有名な仏師の作品も展示されています。

時間は限りがあるから、奥の寺に行きませんでした。また報恩寺に戻って、交流団のみなさんと別れました。高野山はほんとに仏教文化の宝庫だと思います。





把日文投稿翻译中文的文章

久しぶりの日記

2017.12.20

先月から、もう1ヶ月以上日記を書いていません。その原因は登録の暗証番号がなくしてしまいました。昨日掃除した時、机の後に暗証番号が書いてあるカードが見つかりました。これから日記を続けようと思います。

まずは先月のことをまとめます。先月の上旬、私が大阪に行って、海遊館と大阪城で観光して、日本に来たあとはじめて海を見ました。先月のこの日、心連心のさいき先生たちが会いに来て、中華料理のレストランで食事会を行いました。先輩のホストファミリーのさかい夫婦とあって、来年六月に田園の収穫を手伝いに行くと約束しました。11月26日、自分の誕生日に、ここのお母さんとお父さんが美味しいケーキを買ってくれたうえ、プレゼントの手袋ももらいました。手も心も温まって、自分が本当に幸いだと思っています。

今月が期末テストで忙しかったです。成績が出ると、英語が思ったよりよかったです、ほかのは全部失敗しました。古典が1点の差で合格しなくて、悔しかったです。これから頑張り続けたいと思います。この前の週末がお父さんとお風呂屋さんに行きました。はじめて温泉に入って、すごくリラックスしました。

今日の美術の授業で、やっと3ヶ月も続いてきた作品を完成しました。ちょっとみにくいけど、何といっても自分の努力の成果だから、嬉しかったです

いつの間にか、もう年末になって、新年がもうすぐやってきます。冬休みのスケジュールもとっくにいっぱいです、充実に過ごせるに違いありません。冬休みはほかのホストファミリーのさかさんの家に短く住む予定で、もっと違う生活の体験を期待しています。





把日文投稿翻译中文的文章

Merry Christmas !

2017.12.27

もう冬休みになりましたね。前の日記で言ったが、冬休みのスケジュールはいっぱいです。

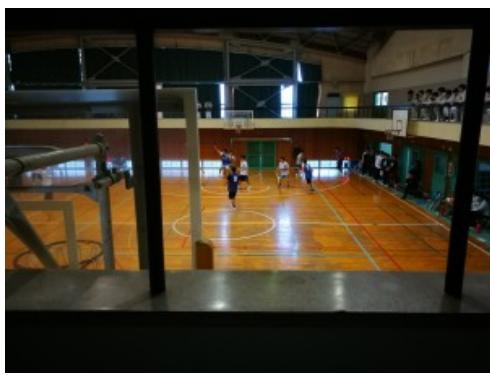
休みになった後、毎日でもバスケ部活があって、ちょっと忙しいが、生活を充実させています。知らず知らず、クリスマスがやってきました。

クリスマスは日本伝統の祭りではないけど、いろいろな祝いがあります。その一つがケーキを食べることです。おとといはクリスマスイブでした。晩ご飯を食べた後、3人がお母さんが買ってくれたクリスマスケーキを食べました。生クリームの上にいちごが載せてあって、チョコレートで作った看板の隣に砂糖で作ったサンタクロースが座っていました。外見がかわいいだけではなくて、味もおいしかったです。ケーキを食べてから、私が早く寝ました。なぜならば、昨日からはバスケ部の奈良への遠征なのです。

昨日の朝6時、まだ暮れていた時、私が学校への電車に乗りました。7時、みんなは学校に揃って、学校のマイクロバスで奈良県に出発しました。一時間ぐらいかかるって、会場の法隆寺国際高校に着きました。一日で3試合をして、荷物をもって、天理市の信者詰め所に止まりに行きました。詰め所はとても大きい建物で、簡単の和式のホテルの感じでした。部屋は和室で、中には布団やシーツなどのような寝るのに必要なもの以外、家具は何もありません。ドアは障子だけで、かぎまでもありません。晩ご飯が終わって、みんなが部屋でクリスマスパーティーを開きました。指導の先生がケーキを買ってきて、飲み物もいっぱい備えました。その上、KFCのチキンも食べました。これも日本のクリスマスの習慣だそうです。クリスマスプレゼントとして、先生が私にバスケ「天理杯」のティーシャツを送ってくれました。めっちゃうれしかったです。みんな遊んだり押しひれたりしていて、10人が同じ部屋に寝ました。

今日はまた郡山高校で一日中試合して、勝利の楽しみもあれば、失敗の残念もありました。とても疲れたが、きれいな夕焼けを見て、この二日間の思い出を大事したいと思います。赤い空に似ているね、この美しい生活…… みなさん、ちょっと遅いかもしれないが、Merry Christmas!





把日文投稿翻译中文的文章

2018の前書き

2018.01.05

いつの間にか、2017年のカレンダーははがされて、2018年がやってきました。なくなった時間がもう戻せないが、大切な思い出がまた心に残っています。悔しいため息もあれば、未知の未来への期待と不安もあります。

大晦日から、私が岩出市の坂さんの家に二日間住みました。坂さんの家には3人の子供もいて、とてもにぎやかでした。みんなテーブルのまわりに座って、テレビでお笑い番組を見ました。文化の違うからかもしれないが、よくみんなが笑い時、なにがおもしろいか理解できません。ちょっとこまっただけど、にぎやかな雰囲気の中にあなたの年が始まりました。元日の朝、餅を食べた後、初詣でに出かけました。手を洗って、神社に入りました。その神社はあまり大きくなくて、この近くの住民がここに集まって、焚き火のまわりであたたまりました。賽銭を箱に入れて、坂さんたちを真似して、参拝しました。神社を参って、イオンモールに連れられてもらいました。私たちが関西空港の近くのイオンモールに行きました。イオンモールはでっかいデパートで、元日なので、各店が初売りしていました。入り口にさまざまな福袋が並べてあって、ある店の福袋はもう売り切れました。デパートの屋上には望遠鏡があって、それで海の対岸を眺めると、空港の飛行機がはっきり見えました。忙しい空港を見て、つい「これらの飛行機の中、私の故郷に通っているのがあるかもしれないね」と思い始めました。日いつものようにが地平線に沈んでいます。新年の一日目がもうすぐ終わるが、2018が始まつばかりです。中国の家族も友達も、私と一緒に新しいスタートを迎えていたのが感じました。

2017がもう過ぎました。喜びも悲しみも全部思い出になりました。変わったのはカレンダーの上の数字だけ、生活がまだ続いています。新しい喜びも悲しみもまた絶えず出ます。私にできるのは、いつものように、希望を抱いて、努力を続けることです。

2018年、よろしくお願いします!



把日文投稿翻译中文的文章

本州最南端への旅行

2018.01.07

残っている冬休みがもともとバスケの練習があるが、昨日から、4日間の休みをもらって、ホストファミリーのお父さんとお母さんと、3泊の旅行に出かけました。

雨の中に橋本を出ると、車がずっと南の方に進んでいました。道路が谷の中に延びています。何時間も進んで、目の前は山ばかりでした。午後一時ごろ、偶に外を一瞥すると、山と山の隙から、突き当たりのない海面が出ました。後ほど、広い海がよく見えることになりました。海岸を沿いでまた一時間ぐらい進んで、潮岬に着きました。ここは日本の本州の最南端です。

駐車場で車を降りて、海の岸に歩きました。雨のためかもしれない、ここには人があんまりいなかったです。3人が傘を差して、林を通して、目的地に到着しました。それは本州最南端のシンボルの潮岬灯台です。灯台が白くて、およそ15メートル高いです。68階の階段を登って、灯台の展望台に上がりました。灯台の前と両側が海に囲まれていて、眺めている人ように土地の端に立っています。広い太平洋に向かって、往来の船を進路を示していて、人の命を守っています。雨が降っていて、風も強かったです。遠くに眺めて、海も空も灰色で、境界がよく見分けられなくて、一体になりました。灯台の下、波が石にあたって、大きい音がしていました。石の上に五六人が釣りをしていました。灰色の海面に、航行している船がぼうっと見えました。船の上の人にとって、ここからの光を見ると、安心を感じるでしょう。

灯台を出て、紀伊大島に行きました。そこにあるトルコ記念館を見学しました。記念館が海の岸に建てられていました。1890年、この岸のすぐ前の海では悲惨な海難がありました。その時、日本を訪問したオスマントルコの軍艦、エルトゥールル号が帰国の途中に、台風でコントロールを失って、岸の近くの暗礁にぶつかり、沈没しました。船といっしょになくなったのは、500人以上の命でした。災難から助かった人が69人だけでした。エルトゥールル号の遺物を見て、とても気分が重かったです。記念館の屋上から、軍艦を沈没させた「船甲羅」という暗礁がはっきり見えます。128年前と同じ、波が岩に打っていました。こんな普通な岩がそんな強い力があって、犠牲者を悼む同時に、自然の強大を感じました。

こんな気持ちをもって、新宮市に出発しました。そこから、明日が旅行を続けます。





把日文投稿翻译中文的文章

冬休み

2018.01.29

冬休みはとっくに終わったけど、冬休みの旅行の記述はこれから続けようと思います。

潮岬を去って、翌日に熊野本宮大社に参りました。熊野本宮大社は世界遺産の紀伊山地の霊場と参詣道の一部で、今まで、もう2050年の歴史をもっています。大きな鳥居を通して、丘の上に登りました。この神社には4つの神を祭っています。参拝したあと、また次の目的地に出発しました。

車が東に向かって、三重県を通って、五時間あと、名古屋に着きました。そこに行くのはホストファミリーのお母さんの実家を訪ねるためでした。実家のおばあさんがとても優しくて招待してくれました。

一泊泊まつたら、みんないっしょにトヨタ産業技術記念館へ見学に行きました。記念館は昔の豊田紡織工場に基づいて改築したのです。豊田の自動車がみんなに知られているが、120年ほど前、豊田の事業は豊田佐吉によって発明された自動織機から発展してきたのです。だから、記念館は織機と自動車の2部分に分かれています。ロビーには巨大な機械が置いていて、1906年に発明された環状織機でした。展示区域に入って、人間の紡織技術の発展を紹介するホールでした。その後は昔の広い作業場でした。ここには豊田のはじめの織機から、近年の最新の製品が展示してあります。そのうえ、工場が働いていた時の生産ラインも保存していて、見学者たちに綿から布までの生産過程を見せていました。

車の好きな私にとって、織機はいくら精密でも、同じ動きを繰り返す機械です。私を引き付けるのは、後ろの自動車展示区域でした。入り口のところに、彫刻ともじで、トヨタが自動車産業に入った経緯を紹介しました。1929年、豊田佐吉の息子、豊田喜一郎が欧米の自動車産業を調査して、日本の国民的な車を作ると決心して、自動車部を設立しました。七年後、様々な困難を乗り越えて、トヨタのはじめの自動車、豊田AAが誕生しました。AAを作った場面を再現した部屋の後ろは豊田自動車技術の展示でした。エンジンは車の心臓です。AAが使っていた古いエンジンから現代のスタイルまで、列になって展示していました。その中に、世界初の革新もあるし、勇敢な試しもありました。次はトランスマッisionやサスペンションなどの展示でした。どのシステムも、複雑の過程を経て、技術の進歩に従って、今の傑作になります。階段を降りて、ここはトヨタの代表になれるスタイルが止まっていました。50年代の凸凹なみちにでも使えるトラック、60年代の一般的な日本家庭に使われて初代カローラ、石油危機の後誕生した省エネルギーの各スタイル、並びに21世紀の電気で進むプリウス、各時代にふさわしいスタイルが同じところに集まって、歴史が目のすぐ前と感じました。そのほか、また自動車の製造などの展示品がありました。

食器も自動車も、誕生した日から、ずっと少しずつ進歩してきています。新しい技術が一つ一つ出て来て、これらの機械も人間の文明の発展とともに変化しています。今見た古いもの、昔の時は最高の技術でした。そう考えると、今のすべてが未来の人にとっては、古い歴史ではありませんか。人間は創造ができる生物だから。

トヨタロボットのバイオリン演奏を聞いて、記念館を出ました。





把日文投稿翻译中文的文章

中間研修の旅

2018.02.07

一年間の留学生活はもう半分過ぎました。中間研修が終わったばかりで、今は大阪へ帰る新幹線で5日間の研修について話したいです。

1月29日の朝七時半、荷物と東京への切符をもって、大阪行の電車に乗りました。難波で地下鉄に乗り換えて、新大阪駅に着きました。9時20分、大阪に留学している同期生と待ち合わせて、一緒に東京への新幹線に降りました。雪が積もってる畠や緑でいっぱいの山や繁華な都市、窓の外の景色の変化に伴って、列車が名古屋を通って、終点の東京に進んでいました。青い空が雲に覆われていました。偶に、雲の中に隙間が出て、隙間から雪が積もっている頂上が見えました。自分がはじめて富士山を見ました。山麓が雲に隠されていて、富士山がまるで雲のうえに浮かんでいたようです。そのうえは神が住んでいる天国だと感じました。

東京に着いた後、みんなバスで埼玉県の日本語国際センターに行きました。次の3日間の研修はここです。

研修ではいろいろな授業を受けたり、発表したりしました。具体的の内容と感想はいつか別に書きたいから、ここでは略したいと思います。

4日目に、みんな早く起きて、一日の観光を始めました。バスが東京を通って、鎌倉大仏に行きました。大仏が800年ほど前の鎌倉幕府時代建てられて、今は日本の国宝です。寺に入ると、すぐ大仏が見えました。もともとは仏殿があったが、昔の災難で崩れて、露天の大仏だけ残っています。大仏が緑に見えて、あぐらをかけて座っていました。仏像がちょっとつむいで、前の観光客を見ていたようです。大仏の後ろから、その中に入れます。中には緑の壁以外何もありませんでした。壁に触って、石の感じでした。帰った後調べると、それは銅だと分かりました。

ご飯を食べた後、鶴岡神社の方に行きました。みんなが小町通りの着物店で着物を試着する予定でした。一時間ぐらい待って、女子達が着物で出た後、男子の番でした。女子の華やかな着物と違って、私たちの着物は全部無地でした。正直ですが、ちょっとがっかりしました。自分が緑のを着ました。みんな着替えて、下駄をはいて、歩いて神社に行きました。はじめて着物を着たのに、あいにく雨に降られました。寒いし、道も滑りました。持ってきた傘が少なかったので、着物が半分濡れました。八幡宮に登って参詣して、みんなさっさと店に帰りました。

晩ご飯が新横浜のラーメン博物館で食べたのです。博物館の1階に日本のラーメンの歴史や有名なラーメン屋を紹介していました。地下は20世紀50年代の町の様子でした。その時代の風格の狭い道に、昔の映画のポスターを貼っていて、店の看板も古い感じがしました。道の周りに日本有名なラーメン屋さんが何軒も集まっていました。私たちが熊本のこむらさきラーメンで豚骨を食べました。そのうえ、仲間の何人が二軒目の店にもう一杯食べに行きました。

夜が新横浜駅のすぐ前のホテルに泊りました。2日の朝、それぞれ別れて、日本各地に戻って、残った半年間はこれから始まります。





把日文投稿翻译中文的文章

失敗を続けないように

2018.02.21

中間研修が終わってから、もう二週間以上経ちました。4日間の研修で、いろいろ勉強になりました。

半年間の生活を総括したら、充実と残念2つの語彙です。充実というのは、学校の勉強、週末でも休まない部活で暇の時間はあまり多くなくて、馴染まないところに生活するので、考え方もあります。残念の理由は半年間を過ごして、獲得は思ったよりずいぶん少ないとこです。クラスメートの間の会話は未だによくわからなくて、交流はそんなに順調ではありません。

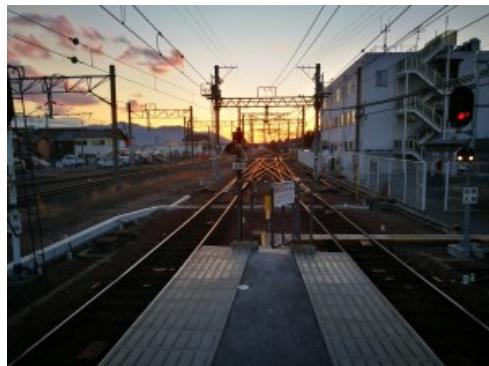
交流といえば、研修の時にコミュニケーションの授業を受けました。いろいろな会話の方法を教えてもらいました。相槌をするとか、答える時相手に追加情報を提供するとか、会話を作れるようにたくさん習いました。もう17年生きてきた人なのに、しゃべる方法でさえ教えてもらうのは、ちょっとナンセンスなことと思ったけど、残念だが、それは確かに必要でした。これからはもっと自信を持って、話をかけてみたいと思います。

もう一つのことは心連心の先輩が言った「自分が外国人ということよく利用する」です。この言葉を聞いたら、大いに啓発されました。今までの留学生には、さまざまな過ちがありました。その中には、小学生でもわかるほど簡単な規則を違反することもあります。しかし、自分が外国人だから、いくら簡単な常識でも相手が優しく教えてくれます。日本人の目に、異国に来たばかりの私はここの生活についての知識は小学生ほど多くないかもしれません。自分が外国人ということを保護にして、いろいろトライするべきだと思います。誰も何も分らない外国人を非難しませんから。もちろん、違法などの悪いこともできるわけではありません。

今まだ覚えているのはこれらの深く印象に残ったものだけです。

先日、偶にバスケ部の仲間と話した時、誰かがさっぱり分からぬ顔をした私に「陳くんはまだ俺らの話を聞き取れない、留学が失敗やろう?」と冗談すると、ぐっとつまりました。確かに、前の期待と比べたら、確かに失敗というのも過ぎないと思います。「今までではそうみたい」と返事しました。私はわざと「今まで」をはっきり言いました。これからこういう状況から逃れたいです。

帰国の飛行機で、失敗という言葉が脳の中に出ないように、これからも努力を続けて行きたいと思います。



把日文投稿翻译中文的文章

三月の回顧

2018.03.27

今週は春休みの始めの一週間になります。一年生の最後の期末テストも発表しました。古典ははじめて30点以上取ったことを始め、すべての科目が進級のラインにパスしました。前はクラスメートに「もし陳くんが国語30以上取らなかったら、二年生にはなれないよ」と冗談されたことがあって、自分にとってその心配が余計だとわかるけど、やはり気にしていました。中国の一年間を含めてもう四学期の高一を過ごして、今回はどうにか安心に二年生になれます。

今月は学年末なので、テストのほか、いろいろなイベントや出来事がありました。卒業会で、三年生の先輩たちが吹奏楽部の演奏とともに退場の時、五分間ぐらい長く拍手しました。先輩たちが馴染んだところを出て、新たな未来に向かって頑張り続けていきます。「二年後の私、高校から出る瞬間に、どう思っているでしょう」とつい未知の未来を想像し始まりました。自分の未来はどのようになるか、期待も心配もあります。

この前中間研修の時に、バスケ部のユニホームがほしいという願いをさいき先生といつたら、先生たちのおかげで、今月自分の22号がついてるユニホームがとうとう届きました。練習試合の時に仲間のユニホームを借りないので、自分に属する番号が胸に書いてあって、いつもより自信が満ちました。この瞬間ははじめて本気に自分がみんなと一緒に、バスケ部という団体の一員だと感じました。いくら辛い練習でも、最後まで頑張っていくと決心しました。なお、斎木先生、ホストファミリーのお母さん、並びにバスケ部の先生たちに誠に「ありがとうございます」と言いたいです。

この頃から、日本語能力試験への準備も始まりました。言語知識はまだできないのがいっぱいから、レベルアップがとても必要だと思います。

ホストファミリーのお母さんがオーストラリアに10日間出張したから、はじめて弁当の大切さを認識しました。この10日間を通じてよくコンビニのパンやおにぎりをご飯として食べて、やはりお母さんの弁当の方が美味しいですね。お母さんの弁当、期待しています。

昨日はまだ寒かったのに、今朝の日差がもういつの間にか咲いてた桜を照らしていました。春が確実に来ました。三月も確実に過ぎました。この1ヶ月を振り返ると、いろんな出来事がありました。明日ありがたい部活休みで旅行に行くつもりだから、今夜はここまで話します。





把日文投稿翻译中文的文章

オープンキャンパス 関大

2018.06.02

これは二ヶ月ぶりの日記です。4月から、高校一年生の生活を一年半にわたって続けて、とうとう二年生になりました。進級にしたがって、授業がどんどん難しくなってきました。バスケ部の練習試合もほとんど毎週行われているので、土日までよく他の町に試合を行っています。総大の日に臨んで、練習が日々厳しくなってきました。そのうえ中間テストの復習もだいぶ時間かかって、日記は書き忘れてしまいました。

先週の水曜日、二年生全員が大学のオープンキャンパスに行きました。みんながそれぞれ興味がある大学を選んで、自分が関西大学に行くことになりました。二週間も準備して、出発の日になりました。去年の遠足と同じ、また雨の日でした。朝八時半、関大へ行く班が最初にバスに乗って、大阪に出発しました。2時間がかかって、バスが関大の千里山キャンパスに入りました。ちょうど授業の間で、学生たちがそれぞれの次の教室に移動していました。さまざまな傘を差していた学生が道を行ったり来たりして、バスが傘の流れを通ったが、誰でもバスに気づいてないように進み続けていました。たぶん大学の生活もかなり忙しいだろうと思いました。図書館の前でバスを降りて、もう11時なので、先に学生食堂にご飯を食べに行くことにしました。学生食堂が三階建ての船みたいな「凜風館」という建物です。主食はセットと丼とラーメンでした。一番人気の丼は「メガ丼」で、招待してくれた先生の話では、一人前注文したら、一班も足りるそうです。残念だが、誰も注文ませんでした。自分が唐揚丼とごま団子にして、その後はソフトクリームを1個食べました。食堂にいた学生さんたちが高校の生徒とだいたい同じ、何人も集まって、喋りながら食事していましたが、たまたま二三人が一人でワークをしていました。ご飯が終わって、学舎に入って、うちの高校の卒業生と三十分ぐらい交流しました。先輩が主に高校の勉強についていろいろ話しました。毎日家で5時間も勉強していたと言いました。自分は帰ったあと家庭勉強はおろか、ときどきかばんを開けることでさえもしません。今までの努力はほんとにまだまだ足らないと認識しました。

その後、先生の大学の説明を聞いて、キャンパス見学の時間でした。千里山キャンパスはとても広くて、35万平米もありました。道の両側は緑でいっぱい、建物が林の中に建てられたようでした。百年以上の歴史も持っている大学なので、東京駅の風格のれんがで建てられた校舎が多かったです。すみからすみまで悠久な歴史を感じされました。これらの建築の中、またモダンな建物が何軒も挟んでいました。れんがの壁とガラスカーテンウォールがともに林の中に並んでいて、過去と現在がともに目に映りました。もう一つ印象に残ったのは文学部の校舎でした。古く見える校舎の前は道がありませんでした。その代わりは人工芝が敷かれた広場でした。緑の広場を歩いて校舎に入るには、灰色の石の道で建物に入ることとは前々回違う気持ちでしょう。勉強を楽しくさせられる素晴らしいデザインだと思いました。

時間は限リがあるので、キャンパスが一部分だけ見学したが、はじめて自ら大学の雰囲気を感じました。将来の大学生活について、少し了解しました。

明日はバスケの総大の一日目で、三年生の先輩たちの最後の試合です。留学生なのでベンチには入れないけど、頑張って応援します!橋高、頑張れ!





把日文投稿翻译中文的文章